

NEWS LETTER

Introducing the latest statistical information

最新の統計情報

旬な政府の統計数値をご紹介します。

経済構造実態調査

印刷・同関連業の「製造品出荷額等」が2年連続5兆円台

経済産業省が8月29日に公表した「2024年経済構造実態調査 製造業事業所調査」によると、2023年の印刷・同関連業の「製造品出荷額等」は前年比微増の5兆934億円だった。5兆円を超えるのは前年の2022年（5兆468億円）に続き、2年連続。

統計や調査方法は異なるが、過去に5兆円を超えたのは2017年（5兆2,378億円）であり、コロナ禍直前の2019年（4兆9,981億円）も下回っていた。2021年以降は、出版・商業印刷需要の減少を補うパッケージ印刷需要、価格転嫁や価格修正が出荷額の微増を支えていると考えられる。

製造品出荷額等の最近の推移

製造品出荷額等＝製造品出荷額＋加工賃収入額＋くず廃物の出荷額＋その他の収入額。消費税を含む。

	印刷・同関連業 計	うち印刷業	うち製版業	うち製本業、印刷物加工業	うち印刷関連サービス業
2016	5,275,282	4,740,504	272,486	238,546	23,747(百万円)
2017	5,237,815	4,693,721	278,360	238,615	26,919
2018	4,982,881	4,452,995	291,675	207,934	30,249
2019	4,998,127	4,473,829	288,999	201,954	33,345
2020	4,663,047	4,175,872	282,398	183,078	21,698
2021	4,856,051	4,365,380	295,260	173,369	22,043
2022	5,046,787	4,566,685	299,151	168,030	12,921
2023	5,093,448	4,639,459	281,115	161,795	11,080

斜体は「工業統計」、下線は「経済センサス」、2021年以降は「経済構造実態調査 製造業事業所調査」。それぞれの数値の時系列は互いに接続しない。

法人企業統計

4－6月期の売上高、前年同期比19.5%増

一部の大手企業は効率化や高付加価値案件で利益を確保している。一方、2020年以降、印刷・同関連業の売上高はインフレ傾向で横ばい～微減収傾向と健闘しているが、物価高騰やデジタル化の影響を吸収しきれずに利益面の苦戦が続いている。

一方、財務省が9月1日に公表した「法人企業統計」（四半期別）によると、2025年4－6月期の印刷・同関連業の売上高は前年同期比19.5%増の1兆8,201億円だった。前年同期を上回るのは4四半期連続。

印刷業全体の市場規模は依然として下り坂だが、原材料高騰に伴う価格転嫁や、コロナ後の一時的な需要回復、印刷会社の減少による集約効果もあり、製造品出荷額は2年連続でわずかに増加している。2025年度は出版・商業印刷の縮小に対して、包装印刷が拡大するなど収益構造に変化が見え始めている。価格転嫁や高付加価値化に成功した企業は安定収益を維持しており、観光需要やインバウンド効果による販促物需要も業績を後押ししている。

		印刷・同関連業 売上高 (億円)	対前年同期伸び率 (%)
2024年	1－3月期	14,389	▲24.3
	4－6月期	15,234	▲6.9
	7－9月期	16,165	4.3
	10－12月期	18,126	18.3
2025年	1－3月期	18,778	30.5
	4－6月期	18,201	19.5

「法人企業統計」（四半期別）。資本金1,000万円以上の企業から抽出し全体を推計。

NEW

「印刷産業 Annually Report」「印刷産業 Quarterly Report」を更新しました。

本紙掲載統計の最新数値と長期推移は「日印産連 HP」https://www.jfpi.or.jp/topics_detail6/id=77



一般社団法人 日本印刷産業連合会
Japan Federation of Printing Industries

広報・渉外部 岸田

TEL：03-3553-6051 メール：kishida@jfpi.or.jp